

「サイバーセキュリティセミナー2021」を開催 <ここからはじまるセキュリティ対策>

総務省東海総合通信局（局長 長塩義樹（ながしお よしき））は、東海情報通信懇談会（会長 岩田 彰（いわた あきら）名古屋工業大学名誉教授）と共催で、令和3年2月24日（木）にYouTubeLiveによるオンラインにて、「サイバーセキュリティセミナー2021」- ここからはじまるセキュリティ対策 -を開催しました。

本セミナーは、社会全体のデジタルトランスフォーメーションが進む中で、ますます重要性が高まっているサイバーセキュリティについて、特に中小企業において能力の向上を図るため、各分野の専門家を招き開催したものです。当日は、東海4県の中小企業（電気通信事業者、放送事業者等）、自治体等を中心に175名が参加し、講演を聴講しました。

はじめに、東海総合通信局長塩局長は「新型コロナウイルスへの対応として、テレワークの普及拡大や社会全体のデジタル・トランスフォーメーションが進みつつある中、不正アクセスやランサムウェアなどのサイバー攻撃も増加している。今回のセミナーなどの取組をととして必要な情報を提供していきたい」とあいさついたしました。

続いて、名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻・渡辺 研司（わたなべ けんじ）教授から、基調講演として、「DXの潮流を睨んだ中小企業のサイバーセキュリティのあり方」を、一般社団法人情報処理安全確保支援士会・大喜 康生（だいき やすお）理事から「中小企業のサイバーセキュリティ対策はじめの一步」を、総務省サイバーセキュリティ統括官室・梅城 崇師（うめき たかのり）参事官補佐から「テレワークに係るセキュリティリスクと対策法」を、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社新種保険部サイバー保険室・神山 太朗（かみやま たろう）室長から「セキュリティインシデントにおける事後対応の重要性～サイバー保険について～」をそれぞれ講演いただきました。

講演では、中小企業のサイバー攻撃の実態や、セキュリティ対策の実状について紹介をいただくとともに、中小企業がこれからセキュリティ対策をはじめるといったような取組を行うべきかについて、社内外のリソースの整備方法等、実践的かつ具体的な方法を説明いただきました。

最後に、東海情報通信懇談会の安田孝美（やすだ たかみ）幹事長より「社会全体のデジタル化が進み、ネットワーク上での業務が加速度的に増加している。是非とも本セミナーで得られた知見を活用いただきたい」と全体の総括とあいさつをいただき閉会いたしました。

東海総合通信局では、令和2年8月に中部経済産業局と共同で「東海サイバーセキュリティ連絡会」を発足しました。同連絡会の活動をととして、東海地区のサイバーセキュリティへの意識の向上を目的に、関係機関と連携して取組を進めてまいります。

お問い合わせ先：電気通信事業課 052-971-9403



名古屋工業大学大学院
工学研究科社会工学専攻 渡辺教授



(一社) 情報処理安全確保支援士会
大喜理事



<閉会挨拶>
東海情報通信懇談会 安田幹事長



あいおいニッセイ同和損害保険（株）
新種保険部サイバー保険室 神山室長



総務省 サイバーセキュリティ
統括官室 梅城参事官補佐